

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 40 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2025 年 7 月 15 日（火） 10 時～12 時

(2) 会場

オンライン開催（Zoom）

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	小笠原勝司
岡山 NPO センター	加藤彰子（代理：高平亮）
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

② 事務局

ひろしま NPO センター	松村渉
---------------	-----

(4) 議題

① 2025 年度前期募集について

② 休眠 2022 予算修正について

③ 休眠 2021 事業完了報告について

④ 休眠預金事業における人件費について

⑤ その他

(5) 記録

① 2025 年度前期募集について

■現状の確認

- JANPIA との面談:7~8 月に予定、現時点で連絡なし。結果は 9 月頃見込み。

② 休眠 2022 予算修正について

■人件費相当（県別）

- 鳥取：6,751,500 → 4,816,500
- 島根：6,751,500 → 6,684,000
- 岡山：8,416,500 → 6,618,750
- 山口：6,751,500 → 4,155,750
- 広島：8,433,000 → 14,829,000
- 各県の必要予算を確認し、余剰分は広島へ移動

■事業費関連（勘定科目別）

- 備品費：2,970,000 → 1,533,400
- 業務委託費：3,313,500 → 4,513,500
- 研修費：200,000 → 300,000

上記修正案を承認した。

③ 休眠 2021 事業完了報告について

- 事後評価報告：精算金額入力後に完了予定。
- 精算報告：実行団体からの返金作業あり。実行団体の精算処理に問題（利子発生、清算様式の処理方法の違い）。7 月 29 日に JANPIA と MTG 予定。コンソ全体で対応を行う。
- 経理処理について各兼経理担当者を中心とした勉強会・意見交換会を実施する。

④ 休眠預金事業の人件費について

■秋研修の開催方針

- 休眠結果を待たず、秋研修の開催地・テーマを決定する必要あり。広島または山口が候補。
- SDGs や NPO 人材育成をテーマに、ひろしま NPO センター中心で企画する案も提示。
- 研修は「支援者のスキル向上」「地域課題解決」「交流促進」を目的に、2~3 年かけて成果を出す方向性。
- 助成金支払額（①）≦ 実支払額（②）である必要あり。休眠預金は現金主義で処理。
- JANPIA との契約形態から、広島と他県の契約が業務委託扱いのため消費税が発生している。

- 業務委託費（広島以外４件の人件費相当）に含むことができる勘定科目の内訳：担当者稼働分（給与・賞与・法定福利費）＋消費税
- 適切な請求・支払い証明を求められる際に対応できるように各県準備が重要。
- 経理担当者を中心とした勉強会・意見交換会を実施し、2025年度会計ルールを定め、書面化する






⑤ その他

以上で議事のすべてを終了し、12:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2025 年 7 月 31 日

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長	松原裕樹	
運営委員	毛利葉	
運営委員	小笠原勝司	
運営委員	加藤彰子	
運営委員	伊藤彰	

署名: 松原裕樹

松原裕樹 (2026年1月7日 10:06:57 GMT+9)

電子メール: matsubara@npoc.or.jp

署名: 毛利葉

毛利葉 (2026年1月7日 16:26:57 GMT+9)

電子メール: ymouri.tottori@gmail.com

署名: 小笠原勝司

小笠原勝司 (2026年1月7日 10:55:06 GMT+9)

電子メール: oga@teiju.or.jp

署名: 加藤彰子

加藤彰子 (2026年1月7日 09:59:52 GMT+9)

電子メール: npokayama05@gmail.com

署名: 伊藤彰

伊藤彰 (2026年1月7日 10:56:04 GMT+9)

電子メール: yamaguchiito@yahoo.co.jp